



会計人の教養

5



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

2016/MAY

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p>② 「おねがいします！」</p> <p>③ 「ありがとうございました」</p> <p>④ 「失礼します」</p> <p>⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

会計人の教養

5

ひとりひとりが経営者

25	24	23	21	20	19	18	17	16	14	13	12	11	10	9	7	6	2
水	火	月	土	金	木	水	火	月	土	金	木	水	火	月	土	金	月
水について	動物たちの楽園	複式簿記の歴史	語彙力	和食器の良さ	VR技術	家族	保険	ものさし	FPの役割	人工知能	課題の取り組み方	人との繋がり	住居の耐震問題	こどもの日	母の日	みどりの日	憲法記念日
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1



31 30 27 26

火 月 金 木

失敗
パ
ブ
ロ
フ
衣
食
住
中
小
企
業
診
断
士

22 21 20 19

※3日、4日、5日は2年生本科の講義がないため、朝礼を行います。
※28日は、外部講習会(予定)のため、朝礼を行いません。

2016 MAY 平成28年 皐月[さつき]

第2巻5号(通算11号)

【月初のつぶやき】

先月14日と16日、突然の揺れが熊本を襲い、永らく「大きな地震はこない」と思われていた熊本も、一瞬にして被災地と化しました。水道は止まり、電気、ガス等あらゆるライフラインが停止したことで、改めて「日常のありがたさ」がわかったような気がします。しかし、また、いつ洪水、地震、干ばつ、台風などの自然災害が、襲ってくるか分かりません。

いざという時は、自分自身の行動が生死を分けることになるので、しっかりとした対策を練っておきたいものです。「備える」ことは、今回の地震から得た教訓となったように思います。

表紙には、地震で大きな被害を出した熊本城(昨年夏撮影)を採用しました。熊本のシンボルとして、必ず立ち直ることを信じています。

最後になりましたが、震災で被害に遭われた方へのお見舞いとお冥福を、心よりお祈りします。

今月の目標

憲法記念日は、「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する」ことを趣旨とする祝日です。

日本国憲法は、みなさんも過去に学校で習ったように、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の三大要素が主軸となっています。この日本国憲法は、施行しこうから現在まで、一度も改正されていません。これをどう捉えるかは人それぞれですが、少なくとも、今の日本があるのは、この憲法のおかげではないでしょうか。

昨今では、技術の発達や世界情勢、国民の価値観の変化などから、憲法改正に対する動きも大きくなってきており、憲法記念日に、世論調査や講演会などを行うことが増えているようです。

公職選挙法が改正され、今年の6月19日に施行されます。そのため、まだ20歳を迎えていない人でも投票を行うことが可能となり、近い将来、私達も投票を行うことができます。

今のうちから、政治や憲法改正の是非などについて、考えておくといいかもしれません。

今日の心がけ◆憲法について考えてみましょう。

みどりの日は、もともと昭和天皇の誕生日である4月29日であり、天皇誕生日という名称でした。

天皇誕生日は本来、天皇の崩御後に廃止され、新しく在位する天皇の誕生日が再び、天皇誕生日になります。しかし、昭和天皇の誕生日は、ゴールデンウィークを構成する祝日の一つであり、「この祝日を廃止することは国民生活に影響を及ぼしかねない。」と懸念されました。

そのため、昭和天皇の誕生日は、「みどりの日」と形を変えてゴールデンウィークを形成することになりました。

その後、2005年の祝日法改正により、みどりの日は、従来から祝日であった5月4日に移動し、4月29日は「昭和の日」と名前を改められ、今に至ります。

このように、物事の成り立ちには様々な要因があります。それらを知ることが、私達日本人にとってとても大切なことだと思えます。

今日の心がけ◆物事の成り立ちを知りましょう。

母の日とは、1905年に米国のアンナ・ジャービスという少女が、母親の死をきっかけに、「生きている間にお母さんに感謝の気持ちを伝える機会を設けるべきだ」と働きかけたのが始まりとされています。この働きかけにより、1914年当時米国の大統領ウィルソンが、5月の第2日曜日を母の日と制定し、国民の祝日としました。

日本で公式に5月の第2日曜日を「母の日」と定めたのは、1947年であり、それまでは、香淳皇后こうじゆんこうしゆうの誕生日である3月6日を母の日と定めていました。

また、母の日にカーネーションを贈る習慣は、アンナが母親の祭壇さいだんに白のカーネーションを飾ったことから始まり、お母さんが健在けんざいであれば赤色、亡くなっている場合は白色のカーネーションを飾るようになりました。

しかし、本来は母親への感謝だけでなく「平和を願う母親たちの社会運動を記念したものだ」としてスタートした母の日は、現在、政治的、商業的思惑おもわくにより「家族のために尽力している母親にプレゼントを贈る日」に変わり、大きな経済効果をもたらしています。

今年は、本来の母の日の意味を考え、何か物を贈るのではなく、感謝の気持ちを込めたメッセージカードを贈ったり、電話をかけたりにしてみるのもいいですね。

今日の心がけ◆お母さんに感謝の気持ちを伝えましょう。

隣の国の中国では、旧暦の5月は病気で亡くなる人が多かったことから、同じ数字が続く5月5日は、端午の節句たんごせきくといわれるようになり、菖蒲しょうぶを門にさしたり、菖蒲を漬つけたお酒を飲んだりして厄払いをするようになりました。

日本での菖蒲は、武道・軍事を大切にする武士である尚武しょうぶと同じ読み方である事と菖蒲の葉は先がとがっていて剣に見える事から、男の子が誕生したら飾り付けをして成長を祝う行事になったとされています。

飾りとして使用される、こいのぼりには、鯉こいが滝をのぼり、竜りゅうになって天に上ったという言い伝えから「子供に立派になってほしい」という思いがあり、兜かぶとや五月人形ごがつにんぎょうには、「強く大きく逞たくましく育ててほしい」という願いが込められています。

この日は、厄除けとして食べるちまきのほかに柏餅かしわもちがあります。柏の木の葉っぱは新しい芽が出てくるまで、古い葉っぱは落ちずにずっとあります。そのことから、「この家の後を引き継ぐ子供が生まれるまでは親は死なない」ことをイメージして、家系が絶えない縁起物とされているからです。今より昔は、男の子は家の跡継ぎだとか、家を守るとかが考えられていました。

こどもの日は男の子の行事と認識している人も多いと思いますが、「子供の人格を重んじ、子供の幸福をはかるとともに、親に感謝する」ことを趣旨としてから、女の子も一緒にお祝いをするようになりました。

今日の心がけ◆親を大切にしましょう。

これは益城町ましきまちに住んでいるAさんの話です。益城町と言えば、4月14日に発生した「平成28年熊本地震」によって、その名を知る人が多くなったと思います。

そこに住むAさんが、大きな揺れからしばらく経った、4月28日に自宅を見ると、黄色い貼り紙があり、隣のおばあさんの家には、赤い貼り紙がありました。

しかし、Aさんは、その貼り紙についての知識がほとんどありませんでした。そこで調べてみると、応急危険度判定の判定結果ということを知りました。

応急危険度判定は、大地震により被災した建築物を調査し、その後発生する余震などによる倒壊の危険性や外壁・窓ガラスの落下、付属設備の転倒などの危険性を判定することにより、人命にかかわる二次的災害を防止することを目的としています。

身の安全を守るために、Aさんの家庭では応急危険度判定だけでなく、建築士の方にも、内部までしっかりと調べてもらうことで今後の対応を考えるとという話しになっています。

今日の心がけ◆自宅の安全を確認しましょう。

人との繋がりとは、人生においての宝です。

私たちは、絶対に一人で生きていくことはできません。誰かに助けられていたり、誰かのことを想ったりと、人は支え支えられ生きています。

これから生きていく上で、今まで以上に人との繋がりが必要になってくることでしょう。そして、出会いの数が増えるに連れ、たくさんの繋がりができると思います。

このように、人との出会いにより、繋がりを持つことでその人をさらに成長させてくれることでしょう。

だからこそ、出会いを大切にし、人との繋がりを大切にしていきましょう。

今日の心がけ◆人との繋がりを大切にしましょう。

みなさんは、どのようにして目の前にある課題に取り組んでいますか。

まず必要なことは、課題の目的や意味を理解することです。その課題の意図をつかみ、どのようにして解決すればよいのかを考えることです。

次に必要なことは、課題解決の最善策をみつけることです。最善策を見つけるためには、自分でじっくり考えて調べることなどが大切です。

しかし、最善策にたどり着かなかつたり、自分が考えた最善策がその課題に適していなかったりすることなど、壁にぶつかることもあると思います。

そのような壁にぶつかった時こそ、あきらめずに、最後まで努力して課題に取り組んでいくことが必要だと感じます。

今日の心がけ◆課題を諦めず最後まで努力しましょう。

西暦2045年に、人工知能が、人間の知能を超えるという予測があります。

この予測はコンピューターチップの性能が、18ヶ月(1.5年)毎ごとに2倍になると予測した「ムーアの法則」に基づいて作られています。

グーグルやアップルなどは、人工知能分野を強化し、日々開発を進めています。3月にはグーグルが開発した人工知能が、勝つにはあと10年は必要だと言われていた囲碁いごの一流棋士きしを破りました。それにより、人工知能の進化は10年早まったと言われます。

このままのペースで開発が進めば、2045年ではなく、もっと早い時期に、人工知能が人間の知能を超えるかもしれません。

超えた先の未来がどうなるかはわかりませんが、ターミネーターの世界のようにならないことを祈ります。

今日の心がけ◆未来に向けて今できることをしましよ。

みなさんは、日頃から計画を立てて行動していますか。

夏休み、ゴールデンウィークなどせつかくの休みの日に何もせず、だらだらと過ごしてしまい、もつと計画を練っておけばよかったと後悔をしてしまった経験がある人は多いと思います。

私は、人生においても同じことが言えると思います。夢や目標がなくなるとなく毎日を過ごしていると、何も為し^なえることはできずに、人生に後悔してしまうのではないのでしょうか。

FPとはファイナンシャル・プランナーの略で、人生設計を手伝ってくれる人達の事をいいます。後悔しない人生を送るためにも、このFPなどのサービスを活用し、一度自分のこれからについて、意識して過ごしてみるのもいいかもしれません。

みなさんもこれから、是非、人生の目標や夢を見つけ、そこに向かっての人生設計を立ててみてはどうでしょうか。

今日の心がけ◆計画を立てましょう。

これはAさんの小学生時代の話です。

Aさんが運動会の練習をしていた際に聞いた、担任の先生の言葉で、とても心に残っているものがあります。それは、「頑張ったかどうかは自分が決めるんじゃないやなくて、周りが決めること。」という言葉です。

小学生時代のAさんは聞いた瞬間、ありきたりな言葉だな、どこかで聞いたことがある気がするな、と思っていました。

数年後、Aさんはその言葉についてももう一度考えてみました。当時Aさんは、こんな暑いときに外で運動しているんだから自分は十分頑張っている、と思っていました。先生の言うとおり、自分で評価をしていたのです。

先生の言葉を数年かけて理解することができたAさんは、努力を量るものさしは自分の外にこそある、と思ったのです。

今日の心がけ◆自分のものさしばかりで努力を量らないようにしましょう。

保険と聞いて、説明を聞くだけでも面倒だとか、わかりにくいなどのイメージを思い浮かべる方は多いのではないでしょうか。

実際、保険の制度はとでも入り組んでいます。それは、人によって保険のプラン・形態が異なってくるため、その人に最適な保険というものも、ひとそれぞれで違ってくるからです。また、各保険で種類が多いため、一つ一つの説明を聞くと時間もかかり、言われていることもわからなくなります。

保険は形のない商品です。保険会社は、一人でも多く保険に加入し、一人でも多く助けられるように、数々の情報を提供しています。特に、時間をかけて説明してくれる方は、私たちに安心も与えてくれます。

しかし、すべてを保険会社に任せるのではなく、自ら知識を得て対策を講じることも大切です。

保険に限らず、物事の善し悪しというのは、自己の先入観だけで判断できるものではありません。実際に仕組みを知ること、正しい判断を下す術すべなのだと思えます。

今日の心がけ◆**まずは知ることから始めましょう。**

人は誰しも、家族という集団に属しています。家族は社会の最小単位であり、生まれて始めに所属する集団でもあります。そして、あらゆる人間関係の基本は家族から始まります。

私は、多くの人は人生を通して、二つの家族に属すると思います。一つは自分が子として属する家族、もう一つは自分が親として属する家族です。

自分が子として属する家族は、自分でどこの家族に所属するか選ぶことはできません。そのことに不満を感じたことがある人もいるでしょう。しかし、自分が今まで生活を送ることができたのも、現在学校に通って学ぶことができているのも、家族の支えや援助が大きいことは、言うまでもありません。家族にはきちんと感謝をしましょう。

そして、対照的にこれから自分で築いていくことが出来るのが、自分が親として属する家族です。アメリカの作家のリング・ラードナーはこんな言葉を遺しています。「あなたが育った家庭は、これからあなたが持つ家庭ほど大切ではない」この言葉が示す通り、育った環境は変えられませんが、将来自分がつくる家庭は自分次第でいくらでも変えていくことができます。

世の中がどんなに変化しても、人生は家族で始まり、家族で終わることに変わりはありません。自分が思う理想の家族について考えてみましょう。

今日の心がけ◆家族の在り方について考えてみましょう。

子供の頃、テレビの向こう側の世界に入ってみたいと思った経験はないでしょうか。映画やアニメの世界を体験してみたいと考えたことはないでしょうか。

世界のテクノロジーの水準がさらに上がり続けている現在、子供の頃の思想は現実になるかもしれません。

最近、巷^{ちまた}で話題のVR（バーチャルリアティー）技術は、例えば、ゲームの主人公の目線になってゲームをプレイすることが出来ます。まさに、そのゲームの世界に入り込んでいるようなものです。

他にも、実際の映像を加工し、遠くの観光地にあたかも訪れているような体験もできます。

今後さらに技術が向上すれば、歩けないような方でも世界の風景を見て回るようなことが出来るかもしれません。はたまた犯罪に悪用される可能性も無き^{あら}にしも非^{あら}ずです。すべての人々にとって役に立つような素晴らしいものができてほしいものです。

今日の心がけ◆どんな技術も人次第だと理解しましょう。

最近よく耳にする「瀬戸物」とは、東日本においての陶器や磁器の総称であり、西日本では「唐津物」と呼ばれます。

陶器とは、粘土を原料に作られ、土色で温かみのある風情ある器です。また、丈夫で清潔、そして加工が簡単なことからトイレの便器にも利用されています。陶石を粉碎したものを原料にした磁器は、純白色で陶器に比べ薄くて軽く、さらに丈夫であるため、日本では古くから家庭内で使う日常食器として利用されています。

近年、この陶磁器を含めた和食器が、海外で人気を博しています。同じデザインの食器で料理を提供する海外のコース料理とは異なり、日本料理は、料理や季節に合わせて食器を選びます。この独特の美意識やおもてなしの意識、自然観、そして日用品でありながら、芸術性も併せ持つ奥深さが人気の秘訣です。

また、最近では国内でも土をこねたり、形を整えたりすることで無心になれ、ストレス発散にも役立つことから、陶芸教室に行く若者が増加しており、各地で開催される陶磁器市の人気も高まっています。

日本の陶磁器は、伝統的な日本文化というだけでなく世界にも誇れる文化です。今一度和食器に目を向けてみてはどうでしょうか。

今日の心がけ◆日本に誇りを持ちましょう。

語彙とは、一つの言語の単語の総体そうたいやある人が用いる語の全体のことをいい、英語ではボキャブラリーといいます。さらに、聞いたり読んだりして理解できる単語を理解語彙、実際に話したり書いたりする時に用いる単語を発表語彙といえます。

さて、最近の若者は語彙力が乏しいとほと言われていました。その所以ゆえんは、喜怒哀楽きどあいらくやおいしい、驚いたなどすべての感情を「ヤバイ」の一言で済ませてしまうためです。一言で様様な感情に当てはまってしまいう「ヤバイ」という言葉は、一見便利な言葉のように感じますが、実際は相手にどの感情のことを指しているのか伝わりません。

それではどうすれば語彙力が付くのでしょうか。語彙力が付く近道は、本や新聞を読むことです。そこに出てきた単語の中に、初めて聞く単語やわからない単語があれば、すぐに調べる習慣をつけましょう。そうすれば、まずは自分の中に理解語彙が増えていきます。

しかし、理解語彙だけが増えても語彙力が付いたとはいえません。実際にその単語を使って話したり書いたりする、いわゆる発表語彙を増やして初めて語彙力が付いたといえるのです。発表語彙を増やすために、日記をつけてみるのも良いかもしれません。

自分の語彙の数はいくつでしょう。語彙が豊富だと表現力も無限に広がります。「ヤバイ」など単純な言葉に頼らず、自分の語彙力を付けて表現力が豊かな人間になりましょう。

今日の心がけ◆語彙を増やして使いこなしましょう。

複式簿記とは、経済主体の経済活動を原因と結果の法則により、絶えず二面的に観察することにより、経済活動全体を一定の原理に従って記録・計算する組織的体系的な記帳法をいいます。基本原理はシンプルでありながら、奥深い複式簿記の虜とりこになる人は後を絶ちません。このような美しい学問は、いつ頃誕生したのでしょうか。

複式簿記の誕生時期には諸説しよせつありますが、最も有力な説によれば、14世紀から15世紀にかけてのルネッサンス期に、イタリアのヴェネチア商人によって複式簿記が発明されたと言われています。1494年に数学者であるルカ・パチョーリが出版した「スンマ」の中で複式簿記が紹介されており、この本は、組織的に行われた複式簿記の存在を記述する最古の文献として知られています。

複式簿記は、当時から現代に至るまで基本原理は一切変わっていません。さらに、複式簿記は画期的かつ完成された学問であったため、瞬またたく間に世界に広がり、現代では世界共通の言語と言われています。

こんなに素晴らしい学問である複式簿記ですが、実は日本の教育において軽視されている実情があります。

しかし、「経済あるところに会計あり」と言われる様に、本物の複式簿記のスキルを持つ人物は、社会から重宝ちようぼうされています。私達も縁えんあつて複式簿記に出会えたのですから、最高の環境が整っている当校で複式簿記を極きわめ、自信を持って社会へと飛び立ちましょう。

今日の心がけ◆複式簿記の素晴らしさを語り合いましょ。

1986年、旧ソ連で、史上最悪の事故と呼ばれるチェルノブイリ原発事故が起きました。これは、チェルノブイリ原発に設置されていたとある原子炉が、メルトダウンを起こし、それによる爆発で、強力な放射線物質が広範囲にわたって放出されたというものです。これにより、様々な自然や、生物が死に絶え、周囲30 km内に住むのべ11万人もの住民が、住処すみかを後にせざるを得なくなりました。そして現在に至るまで、立ち入り禁止となつている区域も多くあり、未だに世界中で物議を醸かもしています。

しかし、あれから30年が経って行われた調査の結果、驚くべきことにその周辺地域には豊かな自然がはびこり、多くの動物たちがいきいきと生活している姿が確認されました。

実は、原発事故による放射線物質の放出が与えた影響は、生態系全てを脅かすほどではなく、住民の立ち退きによって狩猟者しゆりようしや、消費者が激減し、寧ろ生物たちが繁殖するには、実に好都合な条件が揃そろったことによつて、現在のような姿になつていったのだと言われています。

これは、原発事故による環境破壊が、皮肉ひにくにも自然界において本来あるべき姿を取り戻した瞬間でもあると言えるでしょう。

このような一件から、自然というのは、時として、我々人間に牙をむく脅威きょうゐでありつつも、絶望的な状況から這はい上がるほどの強さを持つ偉大なものだという事を再認識させられます。

今日の心がけ◆大自然の偉大さを感じましょう。

「水」は、私たちの生活にとって欠くことのできない物質であり、様々な種類が存在します。例えば、天然水、水素水、炭酸水など全部で13種類存在します。

中でも天然水には、四大ミネラルと言われるカルシウム・ナトリウム・カリウム・マグネシウムが含まれています。

ミネラルは、摂取しても汗等で排泄される性質を持っています。そのため、日常生活でより多くのミネラルを摂取するためにも水を飲むと良いと考えられています。さらに、水には、健康や美白にも影響があると言われています。

しかし、水には、塩素や鉛なまり、トリハロメタンといった有害な物質も含まれています。で、その特徴を理解することも大事です。

今回の地震で、水の大切さに気付かされた方も多いと思います。改めて、水について考えてみることも重要なのではないでしょうか。

今日の心がけ◆水について調べてみましょう。

みなさんは、人生で失敗したことがありますか。

失敗は、人によって様々だと思います。

しかし、失敗することはとても良いことではないでしょうか。失敗をすることで、人はその経験を活かし成長することができるところです。

アメリカの発明家で、300以上もの特許を取得したチャールズ・フランクリン・ケタリングがこういふ言葉を残しています。「失敗をすることを恥ずべきではなく、その原因を明らかにする為にあらゆる失敗を分析すべきであることを教える必要がある。失敗するという事はこの世で重要な教育科目である」と。このように、有名な発明家であっても失敗をし、そこから改善策を探し出しています。

私たちは、これからの人生でもっともっと失敗を積み重ねていくと思います。しかし、失敗したからといって、落ち込むのではなく、「失敗は成功のもと」と考え、自分の成長のために前向きに考えることが必要になってくるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆失敗を活かしましょう。

梅干しやレモンを見ただけで、口の中が酸っぱく感じたことがある人は多いのではないのでしょうか。

それは、パブロフといって、自分の経験により認知している事柄に、体が自然に反応してしまいう条件反射のことです。

これを発見したのは、イワン・パブロフ博士です。部屋に入るたびに、犬がよだれを垂らすことに気づき実験を始めました。その内容は、犬にメトロノームを聞かせてからエサを与えることを繰り返すことでした。その結果、メトロノームを聞いただけで、よだれを垂らすようになりました。この発見は、犬をしつける際の基本的な考え方として影響を与えました。

私たちは、食後のあとにデザートが用意されている日が続くと、次の食事の時もデザートを期待します。このことをパブロフの犬にたとえられて表現されることもあります。また、これまでの経験から、努力することで自信を持つことができ、さらに自分自身のレベルアップを期待することができるのではないのでしょうか。パブロフの仕組みをうまく利用して、自分へのエネルギーにしたいものですね。

今日の心がけ◆パブロフの仕組みを活用しましょう。

衣食住という言葉が、なぜ「衣・食・住」の順番なのか不思議に思ったことはありませんか。この順番は、人間が生きていく上での最低限の優先順位なのではないでしょうか。

人間が飲まず食わずで生存できるのは、3日間が限界だと言われています。

しかし、食事よりもまずは衣服が大事だと考えます。衣服によって、恒温動物である人間は、体温をコントロールし、自然環境から身を守ります。また、人は生まれたらまず、体を清潔にされ、おくるみに包まれます。そのことから、衣服の優先度がうかがえるかと思えます。

そして、食事で心身の健康を保ち、住環境の確保という順番です。

食も住も欠かせないものではありませんが、衣服の重要性を感じています。私達の生活を構成する「衣・食・住」に感謝をして、日々を過ごしていきたいものです。

今日の心がけ◆感謝の心を持ちましょう。

中小企業診断士は、国から認められた経営コンサルタントです。コンサルタントとは、ある物事に関する相談相手となり、助言や提案を行うことで、報酬をもらう職業です。一言でコンサルタントと言っても、経営、財務、人材、建設、医療、不動産など様々なコンサルタントが存在します。その中で、一般的なコンサルタントとして認知されているのが、経営コンサルタントです。

日本は、中小企業が極めて多い国で、日本に存在する企業の約99・7%が中小企業に該当します。そのため、経営全般に関する幅広い知識と適格なアドバイス力を兼ね備えた中小企業診断士は、日本において、大変需要のある資格となっています。

中小企業診断士になる為には、試験に合格し、資格を取得する必要があります。当該試験は、経済学・経済政策、財務・会計、企業経営理論、運営管理、経営法務、経営情報システム、中小企業経営・中小企業政策の七科目から構成されています。出題範囲が膨大な上、一次試験と二次試験に合格する必要があるため、一説には、一千時間以上学ぶ必要があるとも言われる程、難易度が高い国家資格です。

しかし、どんなに高度な資格であっても、単に合格することだけを目的とし、暗記やパターンで取得したとしても何の価値もありません。正しい目的意識を持ち、実社会で活かせる本物のスキルを身につける必要があるのではないのでしょうか。私達も本校の教育方針の代名詞でもある「考える学び」を日頃から実践し、CPAの学生として、恥じない学び方をしましょう。

今日の心がけ◆手段と目的をはき違えない様にしましょう。